

道路事業 再評価

一般国道45号 上北天間林道路

平成24年 7月 4日
国土交通省 東北地方整備局

1. 事業の目的と概要 (1)

事業採択後5年経過

○事業の目的

- ・一般国道45号は、宮城県仙台市を起点に太平洋沿岸地域をはじめ八戸市や十和田市を經由し、青森市に至る延長約608kmの幹線道路
- ・上北天間林道路は高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路で、上北道路、天間林道路と一体となって上北横断道路を形成
- ・青森市と八戸市の連携強化

○計画概要

起終点 : 自: 青森県上北郡東北町大字大浦
至: 青森県上北郡七戸町字附田向

延長(供用済): 7.8km (- km)

幅員 : 13.5m

道路規格 : 第1種第3級

設計速度 : 80km/h

都市計画決定: 平成16年度

事業化 : 平成20年度

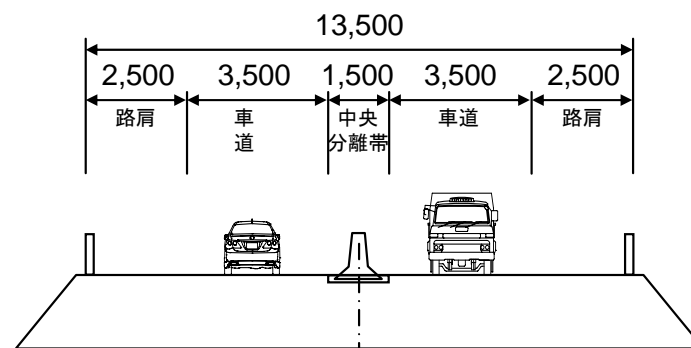
用地着手 : 平成22年度

工事着手 : 平成23年度

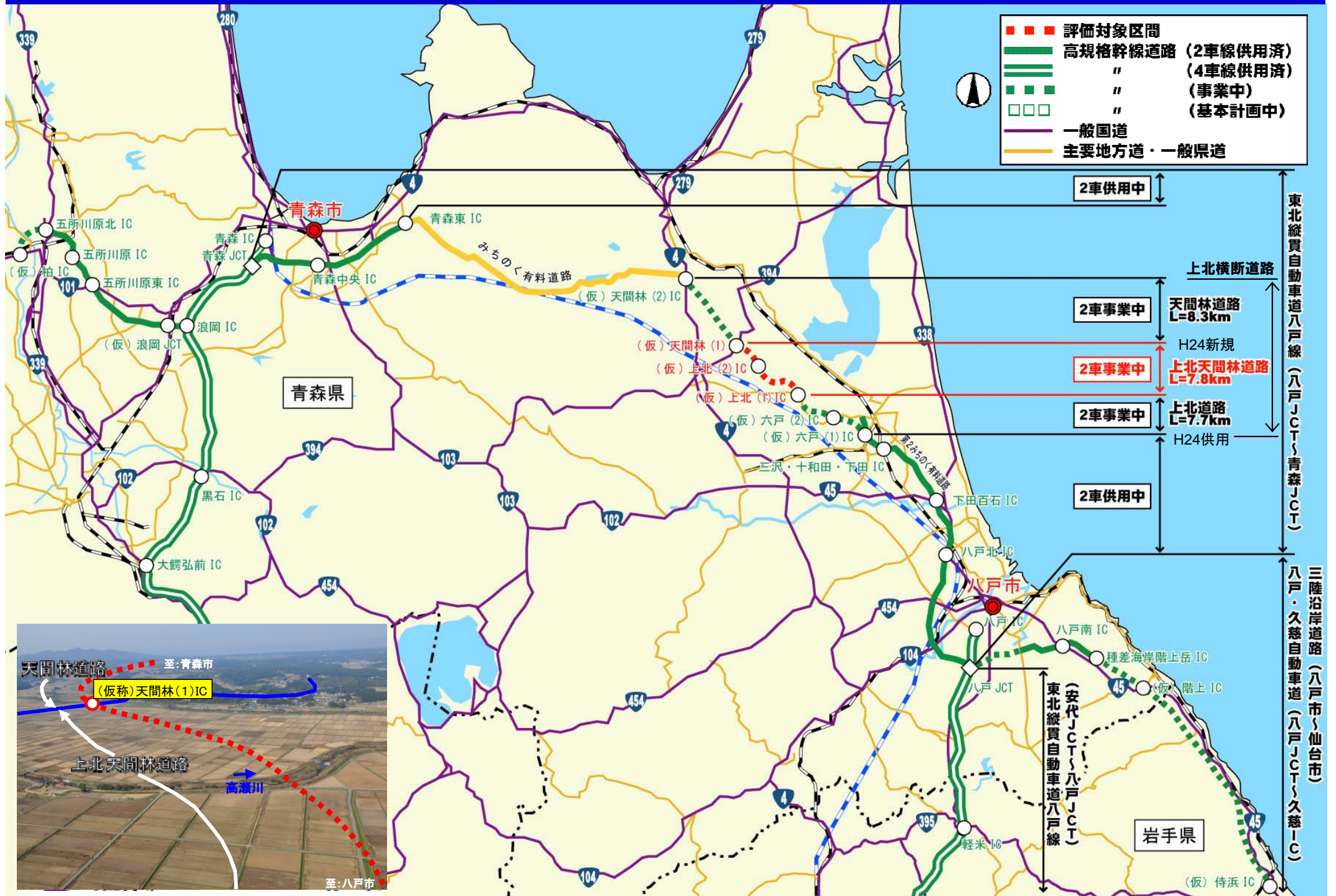
事業費・進捗率

	全体事業費 (うち用地費)	執行済み額 (うち用地費)	全体進捗率 (用地費)	H20新規 事業採択時 (用地費)
完成	229億円 (38億円)	57億円 (10億円)	25% (26%)	229億円 (38億円)

一般国道45号
上北天間林道路



1. 事業の目的と概要 (2)



▲起点付近から(仮)天間林(1)ICを望む

2. 事業の必要性に関する視点（事業を巡る社会情勢の変化）

青森市と八戸市の連携強化

- ◆青森市～八戸市間は高速道路ネットワークが途切れているため、現道の国道4号、45号等経由で約2時間を要する
- ◆上北横断道路の整備により所要時間が1時間30分へと短縮し、物流拠点間の連絡強化が図られるとともに青森県中心3都市の連携強化による経済発展および地域活性化に大きく寄与することが期待される

【青森県復興ビジョン】

- ・主要幹線道路ネットワークは地域間の交流と連携を支え、かつ、広域的避難や支援物資の輸送など防災機能の強化の観点からも必要な社会基盤であり、**上北横断道路**、八戸・久慈自動車道、下北半島縦貫道路、津軽自動車道等の**早期整備が本県の最重要課題の一つ**となっている。

(H23.12)

弘前市⇄青森市間の
所要時間：72分

弘前市
人口：18.3万人(H22)

弘前大学・弘前城を代表とする
学業・歴史の拠点都市

青森市
人口：30.0万人(H22)

県庁所在地であり、
政治・経済の拠点都市

現況：約2時間（114分）

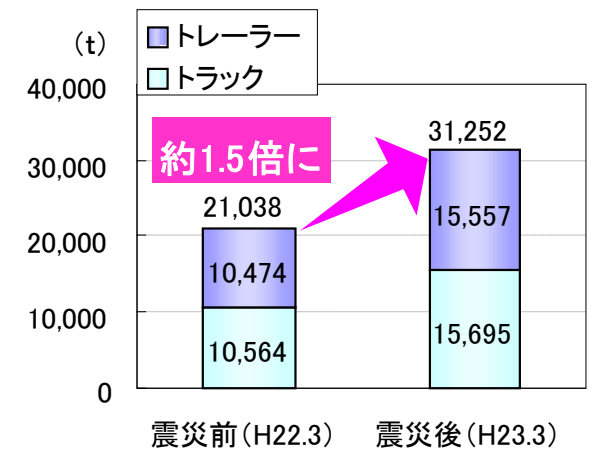
※国道4号・45号等利用

整備後：1時間30分（24分短縮）

上北横断道路
物流拠点間の
連絡強化

上北横断道路

【青森港取扱量(1ヶ月)】



北海道からの支援物資を、青森・大間港から高速・一般道を利用して輸送（青森県復興ビジョンより）

八戸市
人口：23.8万人(H22)

工業・水産業の
拠点都市

【凡例】

- 供用済区間
- 事業中区間

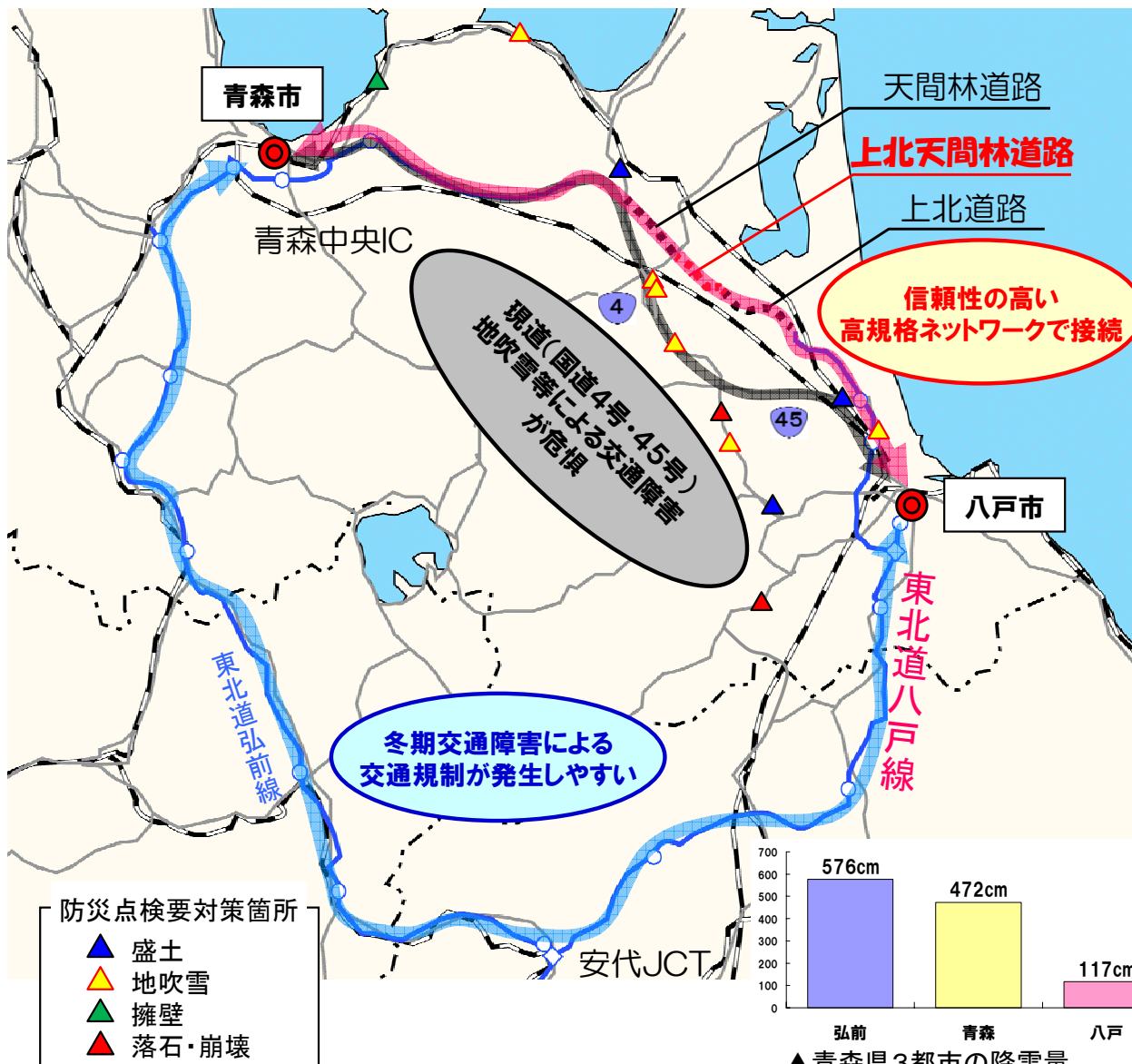
【速度の設定条件】

整備前：混雑時旅行速度(H22センサス)
整備後：80km/h(設計速度)、
混雑時旅行速度(H22センサス)

2. 事業の必要性に関する視点（事業を巡る社会情勢の変化）

信頼性の高い路線の整備が急務

- ◆青森市～八戸市間の現道(国道4号・45号)は地吹雪等による交通障害が危惧され、冬期の信頼性が低い
- ◆現道規制時は、東北道を迂回する事になるが、冬期交通障害による通行止めが発生しやすい
- ◆上北横断道路の整備により、青森市～八戸市間が信頼性の高い高規格ネットワークで接続

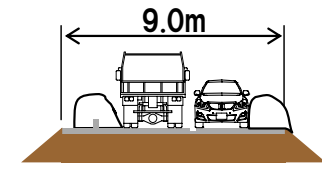


【冬期間の現道状況】

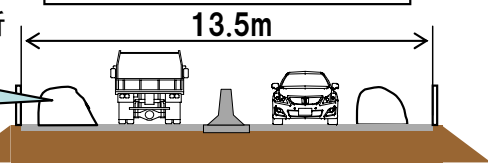


▲国道4号の豪雪による交通障害状況(H24. 2)
資料:青森河川国道事務所

現道の標準横断面

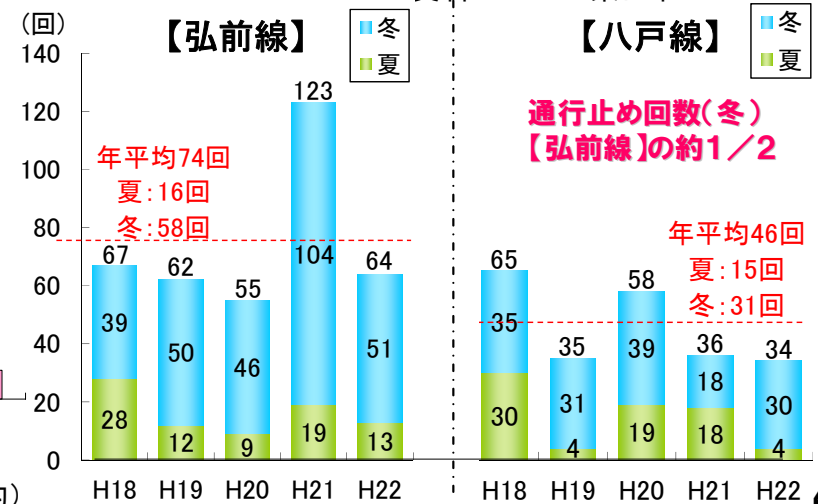


上北天間林の標準横断面



【東北道の冬期通行止め回数】

資料:NEXCO東日本



3. 事業の必要性に関する視点（事業の投資効果）

●費用便益比(B/C) 全体B/C=4.1 残事業B/C=5.4

※下表の数値は、基準年(平成24年度)における現在価値換算した金額を記載

計画交通量(平成42年度) 上北天間林道路=15,400台/日 現道=10,500台/日

【全体】

	基本 ケース	感 度 分 析					
		交通量変動		事業費変動		事業期間変動	
		+10%	-10%	+10%	-10%	+20%	-20%
費用C(現在価値)	227	227	227	246	207	225	230
事業費(億円)	202	202	202	221	182	202	203
維持管理費(億円)	25	25	25	25	25	23	27
便益B(現在価値)	929	1,171	766	929	929	846	1,020
走行時間短縮便益(億円)	756	960	618	756	756	689	830
走行経費減少便益(億円)	100	125	82	100	100	91	110
交通事故減少便益(億円)	72	86	66	72	72	66	79
費用便益比 B/C	4.1	5.2	3.4	3.8	4.5	3.8	4.4

【残事業】

	基本 ケース	感 度 分 析					
		交通量変動		事業費変動		事業期間変動	
		+10%	-10%	+10%	-10%	+20%	-20%
費用C(現在価値)	171	171	171	186	157	171	173
事業費(億円)	147	147	147	161	132	147	147
維持管理費(億円)	25	25	25	25	25	24	26
便益B(現在価値)	929	1,171	766	929	929	886	973
走行時間短縮便益(億円)	756	960	618	756	756	722	792
走行経費減少便益(億円)	100	125	82	100	100	96	105
交通事故減少便益(億円)	72	86	66	72	72	69	76
費用便益比 B/C	5.4	6.8	4.5	5.0	5.9	5.2	5.6

○純現在価値(ENPV) 【全体】702億円 【残事業】757億円

○経済的内部収益率(EIRR) 【全体】15.3% 【残事業】20.6%

●新規採択時の費用便益比(B/C)・計画交通量

【新規採択時のB/C】 【全体】3.8

【新規採択時の計画交通量】 上北天間林道路=14,100台/日 現道=11,200台/日

4. 事業の必要性に関する視点（事業の進捗状況）

○事業進捗状況

- ・事業進捗に係る問題はない。H24年度は橋梁の詳細設計、用地買収、改良工事を推進する。

○環境影響評価

- ・上北天間林道路は、環境影響評価法に基づき、平成16年度の都市計画決定手続きと併せ環境影響評価を実施している。
- ・予測評価の結果、9項目については、環境影響はないあるいは環境影響の程度は極めて小さく、影響は事業者の実行可能な範囲内で回避又は低減されるものと評価する。
- ・動物、生態系の2項目については、必要な事後調査を実施し、環境影響の程度が著しいことが明らかになった場合は、関係機関と協議し必要に応じて追加調査を行い、適切な措置を講じることとしていることから、事業者の実施可能な範囲内で出来る限り回避又は低減されるものと評価する。

○事業採択時より再評価実施までの周辺環境等の変化

- ・東北新幹線(八戸～新青森間)開業(平成22年12月4日)
- ・国道4号七戸バイパス L=5.7km 平成元年:事業化、平成20年3月:部分供用開始(L=2.9km)、平成22年11月:全線供用開始(L=5.7km)

5. 事業の進捗の見込みの視点

- 事業着手後概ね10年程度での供用を目指すこととし、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定

6. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

- 経済的な長尺プレキャスト製品等の採用による工期短縮等

7. 地方公共団体等の意見

○青森県知事の意見

- ・事業の継続に異存はありません。

東日本大震災を踏まえ高規格幹線道路網の重要性が再認識されたところであり、いまだ未整備区間が多く残されている本県にとって、高規格幹線道路網の早期整備は、県民の切なる願いであります。

県民が安全に、そして安心して暮らすために早期整備をお願いします。

事業の執行にあたっては、引き続き、より一層のコスト縮減に努めて頂きますようお願いいたします。

以下の団体から、「上北天間林道路」整備促進について要望あり。

- ・高規格道路建設及び道路整備促進青森県総決起大会、青森地区国道協議会（会長：青森県）、青森県東北縦貫自動車道八戸線建設促進期成同盟会（会長：青森市）、上十三地域広域市町村圏協議会（会長：十和田市）、上十三地区商工会連絡協議会、青森県トラック協会 上十三支部、十和田市商工会議所 他

8. 対応方針（原案）

事業継続

- （理由）青森市と八戸市の連携強化を図るため、早期整備の必要性が高い。

道路事業 再評価

一般国道45号 上北天間林道路

平成24年 7月 4日
国土交通省 東北地方整備局

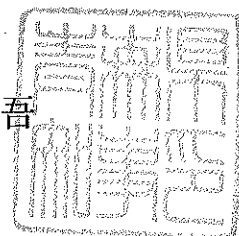


青 道 第 219 号
平成24年6月14日

国土交通省

東北地方整備局長 殿

青森県知事 三村 申吾



東北地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）
の作成に係る意見照会について（回答）

平成24年6月6日付け国東整企画第23号で照会のありました標記
について、事業の継続に異存はありません。

東日本大震災を踏まえ高規格幹線道路網の重要性が再認識されたところ
であり、いまだ未整備区間が多く残されている本県にとって、高規格
幹線道路網の早期整備は、県民の切なる願いであります。

県民が安全に、そして安心して暮らすために早期整備をお願いします。

事業の執行にあたっては、引き続き、より一層のコスト縮減に努めて
頂きますようお願いいたします。

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道45号	上北天間林道路	L=7.8km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
15,400	2	東北地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	220億円	70億円	290億円
うち残事業分	165億円	70億円	235億円
基準年における 現在価値 (C)	202億円	25億円	227億円
うち残事業分	147億円	25億円	171億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
供用年	平成30年度			
単年便益 (初年便益)	48億円	6.4億円	4.69億円	59億円
基準年における 現在価値 (B)	756億円	100億円	72億円	929億円
うち残事業分	756億円	100億円	72億円	929億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	4.1
経済的純現在価値（事業全体）	702億円
経済的内部収益率（事業全体）	15.3%
費用便益比（残事業）	5.4
経済的純現在価値（残事業）	757億円
経済的内部収益率（残事業）	20.6%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（事業全体を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	15,400	±10%	3.4～5.2
事業費	220億円	±10%	3.8～4.5
事業期間	10年	±1年	3.8～4.4

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	15,400	±10%	4.5～6.8
事業費	165億円	±10%	5.0～5.9
事業期間	5年	±1年	5.2～5.6

様式記入上の留意点

1. 基準年は評価実施年度とする。残事業分は評価実施年度の翌年度以降分を計上。
2. 費用及び便益額は整数止（費用・便益の額によって小数点以下2桁）とする。
3. 費用便益比は小数点以下1桁とする。
4. 単年便益（初年便益）は4月1日供用を前提として算出

交通状況の変化

事業名：一般国道45号 上北天間林道路（全体、残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] :7.80km	交通量	[台/日]	—	15,400	
	走行時間	[分]	—	7	
	走行時間費用	[億円/年]	—	19.53	
②主な周辺道路	現道(国道4号) :12.75km	交通量	[台/日]	14,100	10,500
		走行時間	[分]	19	18
		走行時間費用	[億円/年]	50.44	34.83
	国道45号 :11.82km	交通量	[台/日]	13,700	11,900
		走行時間	[分]	19	18
		走行時間費用	[億円/年]	48.55	39.06
	(主)八戸野辺地線 :16.65km	交通量	[台/日]	2,800	1,100
		走行時間	[分]	33	33
		走行時間費用	[億円/年]	16.79	6.73
	(県)折茂上北町停車場線 :5.53km	交通量	[台/日]	8,400	1,100
		走行時間	[分]	10	8
		走行時間費用	[億円/年]	16.35	1.60
③その他道路合計 :2,956.65km	走行時間費用	[億円/年]	4,778.79	4,769.06	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:3,011.20km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4,910.92	4,870.81	40.11

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名：一般国道45号 上北天間林道路（全体、残事業）

【図面（①、②に該当する道路）】



費用便益分析の条件

事業名：一般国道45号 上北天間林道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	■	
	その他	□	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成24年度	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	■(平成42年度)
		複数時点での推計	□
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	■
		整備の有無のいずれかのみ推計	□有 □無
		いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	■ (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	□
		その他()	□
	開発交通量の考慮	無	■
		有	□
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	□	
	転換率式を用いた配分	□	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	■	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	□	
	簡易手法	□	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	□
		山間部海岸部で併行道路が少ない	□
その他()			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	■	
	採用理由を記載	交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)内の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度	□	
	採用理由を記載		
	その他()	□	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
			とり止め交通を考慮する	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	(76) 日 当該区間を管轄する十和田国道維持出張所の除雪稼働日数より設定(H19~H23平均)
			冬期の走行速度と交通容量の関係 走行旅行速度調査より道路種別に応じて冬季旅行速度低下率を算出し、配分速度を補正	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名：一般国道45号 上北天間林道路

(4)

		項目	チェック欄
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他(概算事業計画による値を採用)	<input checked="" type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他		
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

箇所名: 一般国道45号 上北天間林道路(全体)				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)		延長(km)	単純単価(億円)
年次	年度	割引率 4%	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				0.19	7.80	1.48	
-10年目	H 20	1.1699	96.8	0.19	0.22		
-9年目	H 21	1.1249	95.6	1.41	1.56		
-8年目	H 22	1.0816	93.8	4.52	4.89		
-7年目	H 23	1.0400	93.8	13.51	14.05		
-6年目	H 24	1.0000	93.8	35.47	35.47		
-5年目	H 25	0.9615	93.8	52.10	50.09		
-4年目	H 26	0.9246	93.8	35.01	32.37		
-3年目	H 27	0.8890	93.8	35.58	31.63		
-2年目	H 28	0.8548	93.8	27.84	23.80		
-1年目	H 29	0.8219	93.8	14.29	11.74		
供用開始年次	H 30	0.7903	93.8			1.41	1.11
1年目	H 31	0.7599	93.8			1.41	1.07
2年目	H 32	0.7307	93.8			1.41	1.03
3年目	H 33	0.7026	93.8			1.41	0.99
4年目	H 34	0.6756	93.8			1.41	0.95
5年目	H 35	0.6496	93.8			1.41	0.92
6年目	H 36	0.6246	93.8			1.41	0.88
7年目	H 37	0.6006	93.8			1.41	0.85
8年目	H 38	0.5775	93.8			1.41	0.81
9年目	H 39	0.5553	93.8			1.41	0.78
10年目	H 40	0.5339	93.8			1.41	0.75
11年目	H 41	0.5134	93.8			1.41	0.72
12年目	H 42	0.4936	93.8			1.41	0.70
13年目	H 43	0.4746	93.8			1.41	0.67
14年目	H 44	0.4564	93.8			1.41	0.64
15年目	H 45	0.4388	93.8			1.41	0.62
16年目	H 46	0.4220	93.8			1.41	0.60
17年目	H 47	0.4057	93.8			1.41	0.57
18年目	H 48	0.3901	93.8			1.41	0.55
19年目	H 49	0.3751	93.8			1.41	0.53
20年目	H 50	0.3607	93.8			1.41	0.51
21年目	H 51	0.3468	93.8			1.41	0.49
22年目	H 52	0.3335	93.8			1.41	0.47
23年目	H 53	0.3207	93.8			1.41	0.45
24年目	H 54	0.3083	93.8			1.41	0.43
25年目	H 55	0.2965	93.8			1.41	0.42
26年目	H 56	0.2851	93.8			1.41	0.40
27年目	H 57	0.2741	93.8			1.41	0.39
28年目	H 58	0.2636	93.8			1.41	0.37
29年目	H 59	0.2534	93.8			1.41	0.36
30年目	H 60	0.2437	93.8			1.41	0.34
31年目	H 61	0.2343	93.8			1.41	0.33
32年目	H 62	0.2253	93.8			1.41	0.32
33年目	H 63	0.2166	93.8			1.41	0.31
34年目	H 64	0.2083	93.8			1.41	0.29
35年目	H 65	0.2003	93.8			1.41	0.28
36年目	H 66	0.1926	93.8			1.41	0.27
37年目	H 67	0.1852	93.8			1.41	0.26
38年目	H 68	0.1780	93.8			1.41	0.25
39年目	H 69	0.1712	93.8			1.41	0.24
40年目	H 70	0.1646	93.8			1.41	0.23
41年目	H 71	0.1583	93.8			1.41	0.22
42年目	H 72	0.1522	93.8			1.41	0.21
43年目	H 73	0.1463	93.8			1.41	0.21
44年目	H 74	0.1407	93.8			1.41	0.20
45年目	H 75	0.1353	93.8			1.41	0.19
46年目	H 76	0.1301	93.8			1.41	0.18
47年目	H 77	0.1251	93.8			1.41	0.18
48年目	H 78	0.1203	93.8			1.41	0.17
49年目	H 79	0.1157	93.8	-34.97	-4.05	1.41	0.16
合計				184.95	201.77	70.50	24.87
単純事業費計				219.92		70.50	

注1) 事業費の投資パターンは、概算事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道45号 上北天間林道路(残事業)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.19	7.80	1.48

年次	年度	割引率 4%	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-5年目	H 25	0.9615	93.8	52.10	50.09		
-4年目	H 26	0.9246	93.8	35.01	32.37		
-3年目	H 27	0.8890	93.8	35.58	31.63		
-2年目	H 28	0.8548	93.8	27.84	23.80		
-1年目	H 29	0.8219	93.8	14.29	11.74		
供用開始年次	H 30	0.7903	93.8			1.41	1.11
1年目	H 31	0.7599	93.8			1.41	1.07
2年目	H 32	0.7307	93.8			1.41	1.03
3年目	H 33	0.7026	93.8			1.41	0.99
4年目	H 34	0.6756	93.8			1.41	0.95
5年目	H 35	0.6496	93.8			1.41	0.92
6年目	H 36	0.6246	93.8			1.41	0.88
7年目	H 37	0.6006	93.8			1.41	0.85
8年目	H 38	0.5775	93.8			1.41	0.81
9年目	H 39	0.5553	93.8			1.41	0.78
10年目	H 40	0.5339	93.8			1.41	0.75
11年目	H 41	0.5134	93.8			1.41	0.72
12年目	H 42	0.4936	93.8			1.41	0.70
13年目	H 43	0.4746	93.8			1.41	0.67
14年目	H 44	0.4564	93.8			1.41	0.64
15年目	H 45	0.4388	93.8			1.41	0.62
16年目	H 46	0.4220	93.8			1.41	0.60
17年目	H 47	0.4057	93.8			1.41	0.57
18年目	H 48	0.3901	93.8			1.41	0.55
19年目	H 49	0.3751	93.8			1.41	0.53
20年目	H 50	0.3607	93.8			1.41	0.51
21年目	H 51	0.3468	93.8			1.41	0.49
22年目	H 52	0.3335	93.8			1.41	0.47
23年目	H 53	0.3207	93.8			1.41	0.45
24年目	H 54	0.3083	93.8			1.41	0.43
25年目	H 55	0.2965	93.8			1.41	0.42
26年目	H 56	0.2851	93.8			1.41	0.40
27年目	H 57	0.2741	93.8			1.41	0.39
28年目	H 58	0.2636	93.8			1.41	0.37
29年目	H 59	0.2534	93.8			1.41	0.36
30年目	H 60	0.2437	93.8			1.41	0.34
31年目	H 61	0.2343	93.8			1.41	0.33
32年目	H 62	0.2253	93.8			1.41	0.32
33年目	H 63	0.2166	93.8			1.41	0.31
34年目	H 64	0.2083	93.8			1.41	0.29
35年目	H 65	0.2003	93.8			1.41	0.28
36年目	H 66	0.1926	93.8			1.41	0.27
37年目	H 67	0.1852	93.8			1.41	0.26
38年目	H 68	0.1780	93.8			1.41	0.25
39年目	H 69	0.1712	93.8			1.41	0.24
40年目	H 70	0.1646	93.8			1.41	0.23
41年目	H 71	0.1583	93.8			1.41	0.22
42年目	H 72	0.1522	93.8			1.41	0.21
43年目	H 73	0.1463	93.8			1.41	0.21
44年目	H 74	0.1407	93.8			1.41	0.20
45年目	H 75	0.1353	93.8			1.41	0.19
46年目	H 76	0.1301	93.8			1.41	0.18
47年目	H 77	0.1251	93.8			1.41	0.18
48年目	H 78	0.1203	93.8			1.41	0.17
49年目	H 79	0.1157	93.8	-26.83	-3.10	1.41	0.16
合計				137.99	146.53	70.50	24.87

単純事業費計	164.82	70.50
--------	--------	-------

注1) 事業費の投資パターンは、概算事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道45号	上北天間林道路	2	7.8km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				15,834	
	改良費				9,608	
		土工(盛土)	m3	874,844	3,769	
		土工(切土)	m3	648,765	1,290	
		軟弱地盤改良工	m2	44,439	939	
		法面工	m2	201,360	746	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式		0	
		管渠工	m	1,054	160	
		函渠工	m	659	1,333	
		排水工	m	7,594	252	
		側道工	m	26,897	45	
		防護柵工	m	14,514	151	
		雑工	式	1	923	
	橋梁費				1,774	
		100m以上	m	149	905	2橋
		100m未満	m	17	80	1橋
		こ道橋	m	518	789	
	舗装費				1,732	
		舗装工	m2	116,320	1,007	
		中央帯	m	7,760	486	
		路面排水工	m	7,760	239	
	付帯施設費				103	
		情報施設等	式	1	103	
	IC・JCT費				2,615	
		IC工	箇所	2	2,615	ダイヤモンド(1箇所)、集約ダイヤモンド(1箇所)
		JCT	箇所			
②	用地及び補償費				3,832	
	用地費				3,497	
		宅地	m2	765	42	
		田畑	m2	322,034	3,220	
		山林・原野	m2	117,154	234	
		その他	m2			
	補償費		式	1	335	
③	間接経費		式	1	3,234	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				22,900	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道45号	上北天間林道路	2	7.8km

■残事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				12,017	
	改良費				5,791	
		土工(盛土)	m3	340,943	1,469	
		土工(切土)	m3	299,345	595	
		軟弱地盤改良工	m2	20,769	439	
		法面工	m2	200,009	741	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式		0	
		管渠工	m	1,054	160	
		函渠工	m	659	1,333	
		排水工	m	7,594	252	
		側道工	m	26,897	45	
		防護柵工	m	14,514	151	
		雑工	式	1	606	
	橋梁費				1,774	
		100m以上	m	149	905	2橋
		100m未満	m	17	80	1橋
		こ道橋	m	518	789	
	舗装費				1,732	
		舗装工	m2	116,320	1,007	
		中央帯	m	7,760	486	
		路面排水工	m	7,760	239	
	付帯施設費				103	
		情報施設等	式	1	103	
	IC・JCT費				2,615	
		IC工	箇所	2	2,615	ダイヤモンド(1箇所)、集約ダイヤモンド(1箇所)
		JCT	箇所			
②	用地及び補償費				2,873	
	用地費				2,683	
		宅地	m2	465	26	
		田畑	m2	260,034	2,600	
		山林・原野	m2	57,154	57	
		その他	m2			
	補償費		式	1	190	
③	間接経費		式	1	2,272	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				17,162	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道45号	上北天間林道路	2	7.8km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円/年)	備考
維持費	km	7.8	44	巡回、除雪、除草、清掃等
修繕費	式	1	104	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			148	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。